

北辰小学校 森林教室

第1回 ~辰の子の森を探検してみよう~

新潟県南魚沼市立北辰小学校4年生の児童56名を対象に、「総合的な学習の時間」の一環で、市内にある学校林「辰の子の森」で森林教室を行いました。4年生のみんなは初めて入る「辰の子の森」にドキドキです。森林の役割の紙芝居や、植物観察ゲームなどをおして、「辰の子の森」や身近な森林の大切さや面白さを元気いっぱい学習しました。

辰の子の森はスギの人工林ですが、中央には大きなブナが立つ広場があります。

開会式と、山に入る前の注意。

みなさん、森林へようこそ！
森林の中に入る時は危険な動植物に
注意して、楽しい教室にしましょう。



森林の役割の紙芝居

「森林は私たちの生活にとっても欠かせません。
その理由が分かる人はいますか〜？」
「はい！知ってるよ！」



森林官の仕事のお話し

「国有林の現場で働く森林官」のネギさんにお話をしてもらいました。

ネギさんの持っている山の仕事道具にみんな興味津々です。

子供たちが驚いたのは、いつも山の仕事をしているネギさんが「ちょっと離れた場所にあるスギの木のおおよその高さを、目で見て当てられる」こと。

みんなで近くの木の高さを目測をしながら、実際に測樹竿(そくじゅかん)で樹高を測ってみます。

ネギさんの答えが正しいと分かると、子供たちから歓声があがりました。



ブナの広場で植物観察ゲーム

「この写真と同じ葉っぱを探して、樹木の名前を書き込んでみよう。葉っぱをよ〜く観察して下さいね。」



いざ、出発！

「森林の中は草や枝があって、思ったより歩きにくいな〜」



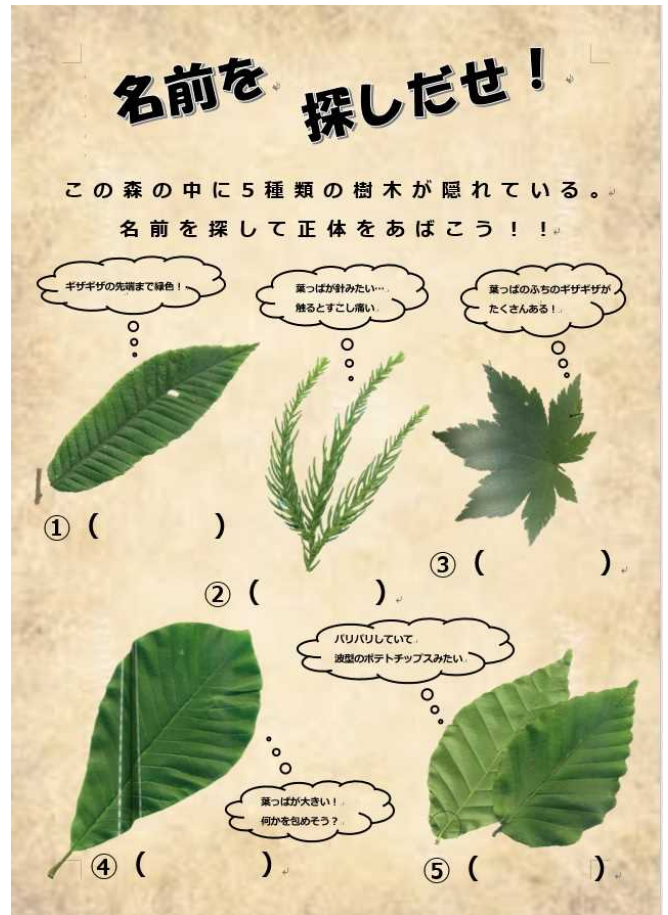
「うーん。これかな」

「あっちにも似た葉っぱがあったよ」



最後に、小枝を一人数本ずつ採取しました。小枝は次回の森林教室で木工に使う予定です。

関東森林管理局 中越森林管理署



「なかなか難しいね」

